

道徳教育で学校を変える

文部科学省初等中等教育局教育課程課

教科調査官 柴原弘志

1 はじめに

広島の道徳教育は、「我が国の道徳教育史上貴重な1ページ」である。

道徳教育は子どもの側に寄り添わないとできない。

中教審各専門部会の答申の内容にも「道徳性の育み」が強調されている。

2 道徳教育の充実で何がかわるのか

一人一人が大切にされる居場所ができる。

子どもが変わる

- ・ 自己の内面を深く見つめるようになる。
- ・ 自己のよさに気づき、さらに伸ばそうとする。
- ・ 目標や夢を持つようになる。
- ・ 自分の生き方を深く考えるようになる。
- ・ 豊かな感性が育まれる。

教職員が変わる

- ・ 子どもを理解する力が深まる
- ・ 子どもの実態にあった授業ができる
- ・ 信頼関係が深まる
- ・ 教育観が変わる

学校が変わる

- ・ 環境が整備される
- ・ 各教育活動が活性化する
- ・ 思いやりのある温かい雰囲気になる

家庭・地域社会が変わる

- ・ 参加協力が得られる
- ・ 地域行事の活性化

学校全体が変わる

3 「共育」のすすめ

- ・ 共に育てる
- ・ 共に育つ
- ・ 共に考え、悩み、感動を共有して学び合うという姿勢

子どもの道徳的成長

人間の生き方 「人間としての」生き方
「生き方」=方法，方向，型

(し) くなる時間

厳しく	優しく
悲しく	親しく
辛く	楽しく
避けたく	待ち遠しく
	美しく

4 「子どもに聴く」姿勢・体制

心に届いているのか？

心に響いているのか？

見取る手立ての基本 観察，言語分析

5 子どもが主役

道徳学習指導案の「学習」の主役は児童生徒である。

6 おわりに

戦後教育で不足しているのは「知識教育」ではなく「人格教育」である。

知恵に人格を足す，これが真の教育である（ルター）。